

事務事業名		支えあいまちづくり事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業										
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目										
	施策名	12 とともに支え合う地域福祉の推進					会計	款	項	目	事業						
	基本事業名	01 地域福祉の充実			☐ 単年度のみ		01	03	01	03	72						
根拠法令					☒ 単年度繰返 (開始 13 年度～)												
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター			☐ 期間限定複数年度												
	課長名	後藤 俊一			【計画期間】												
	係名	高齢者福祉係	電話	26-2943	年度～ 年度												
	担当者	白土 美都	内線	439	※全体計画欄の総投入量を記入												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
地域づくり事業として社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会に事業委託をし、実施している。 ・主な事業内容は、①各種相談等による福祉ニーズの把握(毎週月曜日10時から15時まで専門相談員4名体制で相談事業を実施)、②セミナーや学習会の開催による福祉活動についての住民への啓蒙活動、③ボランティア活動に関する相談・登録幹旋・および養成研修、④住民に対する福祉活動の理解促進のための広報活動(社協だより)、⑤住民参加の福祉活動(一人暮らし高齢者を訪問する見守り活動、ひきこもり防止のためのふれあいサロン活動等)、⑥出会い支援事業の実施など。 ・事業費は、2分の1が県補助金で、社会福祉協議会への委託費として支出される。											総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金				
										都道府県支出金							
										地方債							
										その他							
										一般財源							
										事業費計(A)		0					
										人件費	正規職員従事人数						
											延べ業務時間						
											人件費計(B)	0					
										トータルコスト(A)+(B)					0		

1 現状把握の部(DO)										
(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 各種相談、震災に伴う地域づくり学習会、ボランティア活動、見守り活動、ふれあいサロン活動、出会い支援事業、まちづくりセミナー、まごころ宅急便事業、広報活動等 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象)・社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 (間接の対象)・一般市民 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地域福祉活動の理解及び促進、交流の拡大(②③④⑥) ・市民の精神的な負担の軽減、問題の解決(①) ・ひきこもりや認知症の予防(⑤) ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・ノーマライゼーション理念が正しく理解される。 ・支えあいの地域社会が構築される。					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称					単位
					ア	座談会実施回数				回
					イ	養成講座実施回数				回
					ウ	社協だより印刷配布部数				部
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					名称					単位
					カ	ボランティア団体数				団体
					キ	ボランティア登録人数				人
					ク					
					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					名称					単位
					サ	ボランティア養成講座受講者数				人
					シ	各種相談件数				件
					ス	ふれあいサロン活動参加者数				人

(2) 総事業費・指標等の推移											
				単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円							
			都道府県支出金	千 円							
			地方債	千 円							
			その他	千 円							
			一般財源	千 円	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
			事業費計 (A)	千 円	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	10	10	10	10	10	10	10	
		人件費計 (B)	千 円	40	40	40	40	40	40	40	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040		
⑤活動指標		ア	回	0	0	0	9	9	10		
		イ	回	0	13	20	16	16	17		
		ウ	部	8	12	12	12	12	12		
⑥対象指標		カ	団体	33	34	30	35	35	35		
		キ	人	31185	5728	417	500	500	500		
		ク									
⑦成果指標		サ	人	0	94	141	85	85	90		
		シ	件	1674	810	1,067	220	220	230		
		ス	人	4594	8643	1,274	1300	1300	1300		

事務事業ID	1368	事務事業名	支えあいまちづくり事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
平成13年度から県委託事業で、福祉コミュニティ形成促進事業が創設されたことによる			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
平成15年度に県補助事業の福祉コミュニティ形成促進事業が終了、平成16年度からは社会福祉協議会によるふれあいのまちづくり事業に移行した。平成17年度は市が事業主体となって「地域福祉ネットワーク事業」を実施。21年度から、補助名称の変更により「おおふなと支えあいまちづくり事業」と事業名を変更し、継続実施している。 なお、担当課は23年度までは保健福祉課、24年度以降は保健介護センターとなった。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
議会において、当初、三陸地区でのみ開催していたふれあいサロン事業は大船渡地区でも開催するべきとの意見が出されていたが、その後震災を経て、仮設住宅等におけるひきこもり予防として、全地域においてサロン事業を展開することとなった。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	1368	事務事業名	支えあいまちづくり事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 地域で支えあう意識の醸成に大きな役割を果たしている。また、見守り活動やふれあいサロン活動は被災者支援としても非常に有用な事業である。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も、継続して事業実施していく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者 保健介護センター所長	後藤俊一

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 地域の実情に応じた事業を、社会福祉協議会に委託して実施しているが、今後も、ニーズにあった事業を展開する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
